共通の趣味を持つことが円満のコツ

佐々木　和雄さん（76）
ヨスコさん（74）

津山町・西下在
昭和37年12月入籍

★結婚当時の思い出は

【和雄】見合いで結婚しました。結婚した頃に、農業を馬耕から小型耕運機に変えたので、他の家の分も手広くやりました。また、津山町議員を5期務め、平成24年にはこれまでを振り返る「自分史」を自主出版しました。

【ヨスコ】桃生町から嫁いで来ました。私は中学の1学年下で、おじいさんは生徒会長だったので知っていました。

★印象深い出来事は

【二人】山の上から現住所に家を移転したことです。生活が変わりましたね。以前は除雪など自分たちでしなければいけなかったので大変でした。

★現在の楽しみは

【和雄】旅行です。昨年は3回海外旅行に行きました。あとは野菜づくり。自然薯などを道の駅に出荷しています。

【ヨスコ】体が弱くなったので、旅行は国内旅行が多いですね。歌や踊りが好きでよく見に行きます。

★夫婦円満のコツは

【ヨスコ】よく話をすることですね。あとは一緒にしている野菜づくりです。

【和雄】亭主関白の自分によくついてきてくれました。

★やりたいこと

【和雄】野菜づくりと旅行は続けたいです。今度はニュージーランドに行きたいですね。

【ヨスコ】今のまま過ごしたいね。孫の成長が楽しみです。

ふるさとは心の支え

阿部　藤夫（ふじお）さん（67）

登米市在京町人会連絡協議会役員、在京津山会会長
津山町（西下在）出身

市制施行10周年記念式典。和太鼓の響きに登米市の息吹が感じられました。ふるさとの活力みなぎる組織づくりを心強く感じ、ふるさと会も頑張らなければと思いました。

「在京津山会」は、折しも現天皇陛下ご成婚の年である昭和34年に、柳津会と横山会が良縁にて合併し、現在まで56年間続いています。会員数は4百数十人で、関東地域在住の津山町出身者が親睦交流を通じて、ふるさと津山町との絆の維持醸成を目的として活動しています。本年は、カンガルーの会主催チャリティ音楽会、宮城ふるさと協議会主催被災地ふるさと訪問への参加など活動しました。

なお、当会では現在会員の増強運動中です。入会希望者からの連絡をお待ちしています。（連絡先＝阿部）

☎046（261）0333

ふるさとの緑の森と洋々たる北上川はいつも心の支えになっています。津山町は面積の約8割が森林です。市の木である「スギ」は現在、樹齢何年になるのでしょうか。小学校の野外授業で、植樹・下草刈りに汗をかいたすがすがしさが蘇ります。

地球温暖化が言われ始めて久しくなりますが、津山町約68キロ㎡の山林のCO2吸収量は2トン位でしょうか。県内2番目の山林面積を誇る登米市全体では、どれほどになるのでしょうか。賢明なる市の皆さんが「オフセット・クレジット制度」を視野に入れ、市民経済の活力源に考慮中と耳にしたような気がします。

終わりに、全国大会へ出場した柳津ビッグパワーズ（少年野球）の選手たち感動をありがとう。また、日本一の指揮官の下、日夜地域の安全を守っている消防団津山支団の皆さん、本当にありがとうございます。今後も登米市の益々の発展、市民皆さんのご健康とご多幸を会員一同祈っております。

おらほの道の駅

道の駅津山「もくもくランド」

もくもくランド冬のライトアップ

平成28年1月3日（日）まで（午後4時～午前0時）

今月は、道の駅津山「もくもくランド」の佐藤賀津雄（かつお）駅長にお話を伺いました。

Q道の駅津山でこれから開催するイベントなどを教えてください

12月6日から恒例の「もくもくランド冬のライトアップ」を実施しています。施設や樹木に約6千個の電球を使ったイルミネーションライトが美しく彩ります。期間は来年の1月3日までです。

また、1月2、3日の二日間「もくもくランド初売り」を催します。新春恒例の餅つき大会（2日のみ）を始め、無病息災を祈る「獅子舞」や、お楽しみ大抽選会などを実施。もくもくハウスでは杉の矢羽材で作った来年の干支、サルの置物を販売します。

Q今の季節、お薦めの農産物などを教えてください

ダイコンやハクサイなどの冬野菜ですね。旬の野菜を使った手作りの漬け物、豆餅や草餅なども人気です。

また、12月上旬からご当地グルメ「仙台麩」を使用した「仙台麩黒蜜ソフト」を販売しています。サクサクな麩がアクセントとなりとてもおいしいですよ。価格は350円ですが、食べた感想をその場でフェイスブックなどにアップすると今なら100円になります（平成28年1月末まで）。ぜひ一度ご賞味ください。

手作りのおいしい漬け物

人気の「仙台麩黒蜜ソフト」

【問い合わせ】道の駅津山「もくもくランド」
☎0225（69）2341

まちの文芸

俳句・川柳

作品募集！
●2月号は短歌です。住所・氏名・電話番号を記入し、12月31日（木）までご応募ください。作品には全てふりがなを振ってください。
●応募者多数の場合選考して掲載します。

川柳――

寒空につるつる頭湯気を出す　菅原たゑ子（迫）
猿の年やさしいかにさん何人にも　吉田まさよ（迫）
来る年も家族安穏手を合わせ　佐々木康子（米山）
お茶飲みで元気を糧に明日を生く　高橋とく子（豊里）

俳句――

来るものをみな受け入れて花八手　小野寺智子（迫）
四百年生きし榧の実落つる寺　鈴木　千佳（東和）
凩や被災庁舎の鉄骨顕　小野寺好道（東和）
秋しじま夕日溶け落つ日本海　菊地　典子（中田）
小春日やまどろむネコの身の長し　小野寺タヘ子（中田）
秋天へ岩木山まるごと吸われけり　黒田　律子（中田）
カリヨンの鐘の音爽か新校舎　佐藤　昭（中田）
秋の風千年辿る夫婦杉　今野ひろ子（豊里）
暁秋や沈む夕日の紅あかと　佐竹　恒子（津山）
金木犀香れど庭に友はなく　佐藤みゑ子（津山）

応募総数32作品